

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	三橋 正道	電 話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9086		事務事業名称		出産育児一時金貸付金					短縮コード		経常		臨時	9086	
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計		款	06	保健事業費		項	01	保健事業費		目	03	出産育児一時金貸付金	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市国民健康保険出産費資金貸付条例、八千代市国民健康保険出産費資金貸付条例施行規則									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
平成14年から、被保険者の福祉の向上に寄与することを目的に開始。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして								
出産に要する費用の増加に伴い、利用件数も増加してきている。今後も増加する見込み。						大項目（節）	03	社会保障								
						中 項 目	01	国民健康保険								
						小項目（施策）	01	財政運営の健全化								
						細 項 目	02	医療費（給付）の適正化								
					実施計画の計画事業											
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成19年4月 ～ 平成20年3月		計画事業費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）		被保険者で、出産育児一時金の支給を受けることが見込まれるの世帯主					
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）		※平成18年度に実際に行ったこと： 世帯主から申し込みを受け、出産に要する費用を支払う為の資金として、出産育児一時金支給見込額の9割までを貸付。出産育児一時金の支給時に相殺。					
		※平成19年度に計画していること： 18年度と同じ					
意図 （何を狙っているのか）		被保険者の一時的な出産費用の軽減を図る。					
結果 （どんな結果に結びつけるのか）		経済的に安心して出産できる。					
区 分			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	出産育児一時金支給件数	件	332	386	299	336
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	出産育児一時金貸付件数	件	42	70	65	48
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	一時的に経済的負担の軽減を感じている世帯	%	100	100	100	100
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード	9086	事務事業名称	出産育児一時金貸付金				所属名	国保年金課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			今後とも適正な事務処理を行う。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			貸付件数は増加傾向である。件数増とともに、必然的に成果の向上と経費増があいまって発生する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
出産費資金貸付制度により，子供が生まれてから支給する出産育児一時金の上限9割までを，出産に先立って事前の貸付として利用される事例は増えておりますが，その一方で貸付における添付書類として出産予定日等の明記した出産証明書が必要とすることに対する理由説明，そして医療機関より請求を受けた時点で貸付請求をされる場合の必要書類等についての問合せを受けることもあり，貸付制度に対する関心が高まっている状況を感じます。									

所属長コメント	条例に基づく貸付制度であり、事務の効率化を図り業務を進めていく。								
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									